



# 横浜冷凍株式会社（神奈川県横浜市）

環境に配慮した「夢洲物流センター」を建設することにより二酸化炭素排出量削減や省エネルギー化を実現するなど環境保全に関する活動に積極的に取り組んでいる。

（取組みの概要）

## ■環境に優しい冷蔵倉庫「夢洲物流センター」

・関西イノベーション国際戦略総合特区である大阪市此花区夢洲地区において、**環境にやさしい最先端の技術を集結した冷蔵倉庫「夢洲物流センター」**を設計・建設した。



・**業界最大級の630kWの太陽光発電システムを設置**。平成27年度の年間発電量は約74万kWh、CO2削減量は年間388tを達成。FIT制度以降、業界初となる売電も行っている。

## ■環境貢献型経営（グリーン経営）の促進

・**全国40カ所の冷蔵倉庫事業所でのグリーン経営認証取得**に加え、社内向けに「**グリーン経営ハンドブック**」を作成・配布するとともに、ホームページ上での掲載も行うなど、グリーン経営教育の推進に取り組んでいる。



## 環境に優しい冷蔵倉庫「夢洲物流センター」

業界最大級の630kWの太陽光発電システムその他、アンモニア/CO2冷凍機、リチウムイオン蓄電池、ハイブリッドデシカント陽圧システム、BEMS (Building Energy Management System)、LED照明等、環境にやさしい多数の技術を集結。



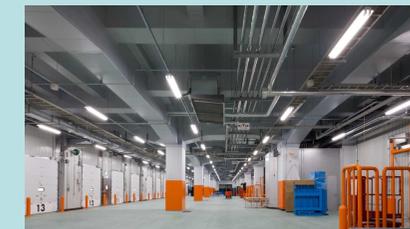
アンモニア/CO2冷凍機：最先端の冷凍設備を完備し、冷媒もアンモニア/CO2を使用し、従来の設備とは違い冷媒量も少なく環境に配慮した設備になっている。



BEMS画面：BEMS導入により、電力の使用状況を設備グループごとに詳細に見えらる化し電力使用量の抑制を図るとともに、従業員の省エネ意識の向上が期待できる。



リチウムイオン電池：非常時は供給電力が停電しても、太陽光をエネルギー源としているので、日射があれば電源の確保はできるようになっている。



ハイブリッドデシカント陽圧システム：低温室の冷却時に発生するコンプレッサの排熱を利用し除湿しており、熱エネルギーの有効活用を実現している。